

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年7月15日(2010.7.15)

【公開番号】特開2010-121798(P2010-121798A)
 【公開日】平成22年6月3日(2010.6.3)
 【年通号数】公開・登録公報2010-022
 【出願番号】特願2008-293474(P2008-293474)
 【国際特許分類】

F 2 4 F 11/02 (2006.01)

【F I】

F 2 4 F 11/02 1 0 2 A

F 2 4 F 11/02 P

【手続補正書】
 【提出日】平成22年6月1日(2010.6.1)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

室内機と室外機とを有し、前記室内機と前記室外機とで完結した一つの冷凍サイクルを形成する複数台の空気調和機と、統制用の演算部とを備え、一つの空調エリアに複数台の前記室内機を配置し、前記統制用の演算部が、前記空気調和機間で相互に通信を行うことにより各空気調和機で検知した空調負荷に応じて、各空気調和機の空調能力を平準化することを特徴とする空気調和装置。

【請求項 2】

一つの空調エリアに複数台が配置された前記室内機にそれぞれ設けられた吸込み空気温度検出器により測定され統計をとった平均吸込み空気温度とユーザが設定する設定温度との差に応じて、前記室内機に接続の室外機一律で空調能力を制御することを特徴とする請求項 1 記載の空気調和装置。

【請求項 3】

室内機と室外機とを有し、前記室内機と前記室外機とで完結した一つの冷凍サイクルを形成する複数台の空気調和機と、統制用の演算部とを備え、一つの空調エリアに複数台の前記室内機を配置し、前記統制用の演算部が、前記空気調和機間で相互に通信を行うことにより、冷房運転指令時に除湿能力アップ運転を行うものと、設定温度に対し室内温度が下がらないように負荷調整を行う運転を行うものとが混在することを特徴とする空気調和装置。

【請求項 4】

複数台の空気調和機の内、何台かを暖房運転することを特徴とする請求項 3 記載の空気調和装置。

【請求項 5】

暖房時、前記複数の空気調和機の前記室外機の除霜運転を同時に行わないようにすることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の空気調和装置。